



鶴の舞 PHOTO by S.YAMAOKA

ごあいさつ「新年を迎えて」
代表取締役社長 川西勝三

国内展示会
ウェステック 2006



2006年度Yamato研修会を開催



海外展示会
PMMI展
サロン展



製品特集

パーセンサー
防水形卓上データウェイ TDW-2100シリーズ
検定品高精度体組成計 DF860

トピックス

兵庫国体
F1シリーズが日食優秀食品機械資材・素材賞を受賞



代表取締役社長
川西 勝三

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。

大和製衡は、昨年4月に、「成長」をキーワードとした新しい中期経営計画をスタートさせました。おかげさまで、今期は目標を上回る予測となっております。しかしながら、いかなる企業も競合のなかで日々活動しており、当社も例外ではなく、この好調さを維持するためには、競争に打ち勝っていく必要があります。激しい企業間競争の中で、グレードの高い基礎技術に裏付けされた、世界的に同一の製品により、競争を勝ち抜いているトヨタや、液晶技術という他社が持っていない特長のある技術で躍進しているシャープの様な企業があります。言い換えれば、「グレードの高い基礎技術」「他社の追従を許さない独自技術」がないと、同質な製品や技術のもとで、激しい価格競争に陥ることになります。当社においても、「高い基礎技術」「独自技術」を企業の特徴とし、商品の特徴をユーザに認めていただき、競争からの脱却を図らなければ、新中期経営計画の課題である「持続的な成長」をなしとげることはできません。

また、「持続的な成長」を阻害するもうひとつの視点として、急激に社会の非難を浴びている企業のコンプライアンス、すなわち談合問題があります。この問題は、社内の思想やルールを強化するだけでは根本的な解決にはなりません。その解決策は、「高い基礎技術」や「独自技術」を企業の特徴とするという原点に立ち返り、特許技術に裏付けされた商品やその背景にある技術そのものをユーザに選択していただくことです。つまり、ユーザに、「価格が主」で「技術が従」から、「技術が主」で「価格が従」であると考えていただくことにより、大和の商品を選択していただくことです。

当社は、データウェイ F1シリーズ、次世代形トラックスケール、体組成計をはじめとするナンバーワン商品で、お客様の価値判断基準を変えていただき、コンプライアンスを実践していきます。

最後に個人的な話ではありますが、去年は地元兵庫の「のじぎく国体」において趣味の馬術で、最高齢者でありながら5位に入賞し、トップアマとなることができました。

このスポーツで培った「狙った獲物は絶対にはずさない」という信条のもと、「スポーツ経営」に磨きをかけ、ナンバーワン商品を継続して市場へ提供し、世界のお客様に満足いただくとともに、コンプライアンス経営に取組、計量計測の分野で社会に貢献し、企業価値を高めてまいります。

大和と大和グループの力を結集して、質の向上から持続可能な成長への新たな飛躍をおこなう年にしたいと存じますので、本年も、なお一層のご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2007年元旦

2006年度 Yamato 研修会を開催

2006年度 **Yamato**研修会を、全国の有力販売店様26社のご参加を賜り、9月5日に神戸北野クラブ・ソラにて開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2005年度売上げ拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。そして、ご出席各社のご代表として、株式会社岡崎衡器製作所 岡崎社長様より謝辞を頂きました。また、特別表彰の各賞につきましても、2005年度弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させて頂きました。



このあと川西社長より、弊社のスポーツ経営について具体的な成果を示し、今後もNo.1商品戦略を通じてビジネスチャンスを生み出し続けていく**Yamato**の企業姿勢について発表致しました。

次に長谷川常務取締役より、2006年度普通はかり事業部方針を下記の通り発表致しました。

「普通はかり事業部の基本方針は、21世紀に生き残り、勝ち続けるために、中期的には新しい計量機とそのシステム(最適制御)及び健康管理関連機器分野の技術、サービスを進化し、全社戦略並びに中期経営ビジョンに基づき、攻めのグローバル戦略(世界戦略)を軸においた営業改革を推進していく」

新商品展示コーナーでは、「That's Yamato 21世紀の市場ニーズを先取りする新商品の提案」をテーマに新形TDW/DP・UDS/健康関連機器/産機・自動機器製品の4つのコーナーに分けて、それぞれの新製品を展示発表致しました。

研修会の後、北野クラブ・ソラ内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催致しました。

会場では、Yamato Music Festival Vol.5と題し、「川西勝三とそのバンド」ウォルター・クラーク、張かんな・さつきさんをお迎えし、ジャズ、クラシック音楽の演奏を楽しんで頂き、大変な盛り上がりの中に終わりました。

翌6日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルファーあこがれの名門コース“広野ゴルフ倶楽部”でのプレーと、大河ドラマで話題となりました「義経」と「山内一豊」の京都ゆかりの地をお楽しみ頂くと同時に、お互いの親睦を深めて頂きました。

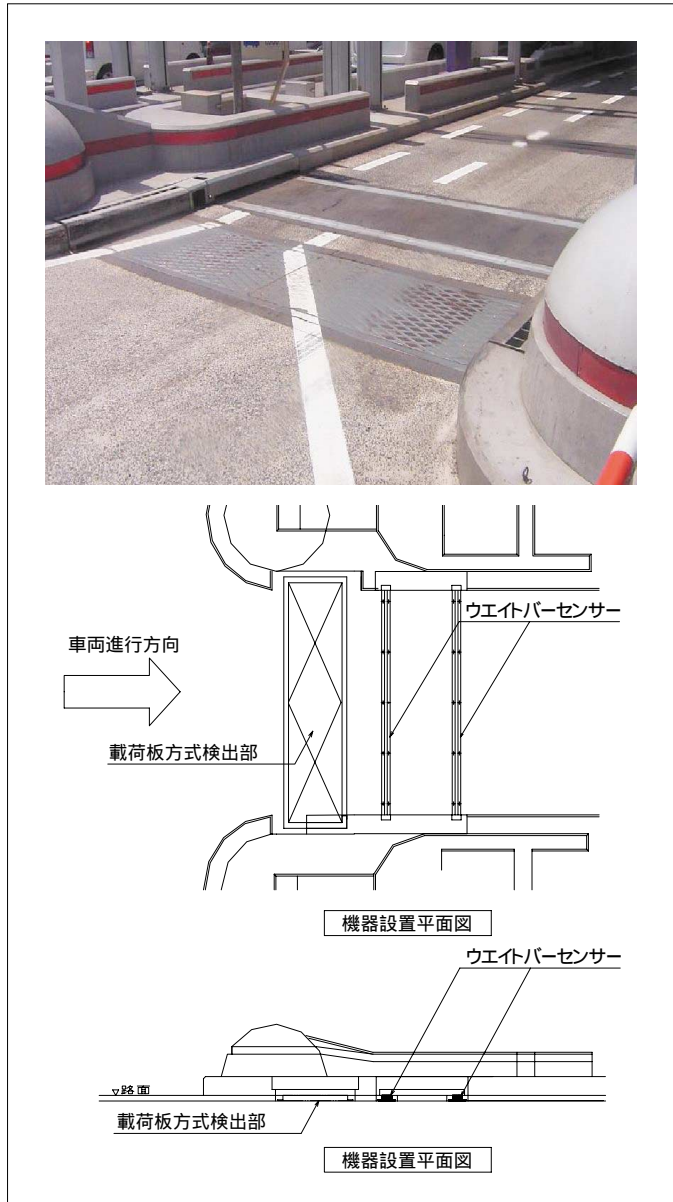
2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することが出来ました事は、ご参加頂きました皆様のご協力の賜と深く感謝致しております。



ウエイトバーセンサー形軸重計

軸重違反車の走行は、路面・高架施設に深刻な悪影響を与え、かつ道路周辺に騒音・振動公害をもたらしています。このため、高速道路の料金所入口には、古くから軸重計が設置され軸重違反車には警告書を発行しています。また、特殊車両の交通量の多い一般道路にも軸重計が設置され、軸重違反車をカメラに収め警告書を発行しています。これまでの軸重計は載荷板方式と言われ、タイヤの接地(250~300mm)より長い載荷板(760mm幅)で計量してきました。

高速道路の料金所の入口は、一時停止するので精度 $\pm 1t$ (軸重違反となる10tに対しては、 $\pm 10\%$)に対する速度は20km/h以下でしたが、ETCの普及により速度は40km/hまでを目標にしています。また一般道路においても精度を上げて管理の信頼性を上げたい要求が強くなり、精度は速度60km/hで $\pm 30\%$ から $\pm 20\%$ になってきています。このような状況を踏まえ、今までの載荷板方式にウエイトバーセンサー2本を追加した新形軸重計を商品化しましたのでご紹介いたします。



ウエイトバーセンサーの測定原理

タイヤがウエイトバーセンサー上を通過する側面図と、タイヤが路面と接している状態を図1に示す。この時、軸重量 W はタイヤの接地圧力(P)と面積(S)の積に等しく、この接地圧力と面積を測定すれば軸重量が求められることになり、タイヤがウエイトバーセンサーに同時に全て乗らなくても軸重が求められます。

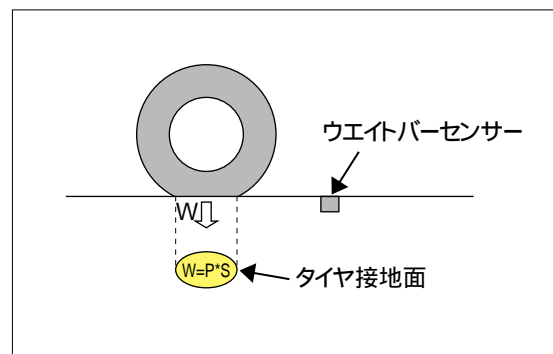


図1 タイヤ接地面と荷重の関係

防水形卓上データウェイ TDW - 2100シリーズ

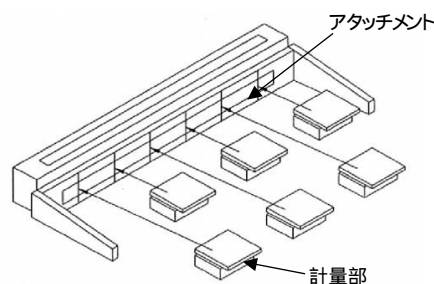
少子化と食生活の多様化により、個食用の新しい小容量定量パック商品が次々にヒットする中、食品業界ではISO22000やHACCPといった衛生管理システムに取り組む一方で、激化する販売競争に勝ち抜くための差別化商品の創造に余念がありません。にもかかわらず、長引く原高の影響により原料コスト・包材コスト・輸送コスト等のあらゆる面での生産・流通コストの上昇が企業経営を逼迫させています。

そこで **Yamato** では、衛生面を考慮してIP66の防水性能を完備し、多種・多様な食材への対応を可能とし、さらには、歩留まりの向上・計量スピードのアップによる生産性の大幅な改善を追求した「次世代形・防水形卓上データウェイ TDW-2100シリーズ」の発売を2007年1月末に予定しております。



特長

ビルトインブロック方式を採用(TDW-2102WPのみ) TDW-203WIIでは不可能であった計量皿の大きさやレイアウトの変更を、ビルトインブロック方式を採用する事により被計量物の大きさに合わせて各計量ヘッドの皿サイズ及び取付位置をある程度自由にレイアウトできます。また、連数も8連～最大16連と自由に変更できます。(標準は12連) はかりがフレームと独立している方式 外装オールステンレス製、IP66の防水構造を実現 計量部は非接触(電磁誘電式)電源と無線通信を採用、アタッチメントから取り外しての洗浄が可能です。



標準12連(片側6連のイメージ図)

指示部はタッチパネル付きカラー液晶表示を採用 12.1インチカラーLCDを採用、組合せ重量に加え、新たに「品名」「はかりの状態表示」「組合せ能力表示」「生産状況グラフ表示」など、生産状況が一目でわかる画面表示です。

無線式データ通信と豊富な拡張性

指示部と本体部間はワイヤレス通信(Bluetooth)を利用、煩わしいケーブルがありません。

また、外部入出力としてUSBポートを標準装備、オプションですがLAN対応も可能です。

サブスケールとして、「UDS-1VN-WP」「DP-6302WPR」とワイヤレスで接続することもできます。

豊富な集計機能を搭載

生産状況の把握、生産コストの見直しに必要な品種毎の標準偏差・平均値・作業時間・作業能力などを集計として取ることができます。品種は最大999種類の登録が可能です。

高速計量の実現

高速A/D変換を採用しており、安定検出にはフィルタリングを行っていますので、計量時間の短縮となり、旧モデルと比較し、20%UPの高速計量を実現しました。

作業指示機能

1日の作業内容を登録することで、毎回の作業終了後に自動的に品種の変更(切替え)を行います。

仕様

品番	TDW - 2101WP(標準)	TDW - 2102WP(セバレート)
組合せ範囲	40g ~ 18,000g(1円 ~ 99,999円)	
投入質量	20g ~ 3,000g / 秤	
組合せスピード	20回 / 分	
はかり連数	12連(+サブスケール)	標準12連(8 ~ 16連で選択可能)

新発売!!

検定品 高精度体組成計 DF860

2007年1月20日に発売する高精度体組成計「DF860」は、体重証明としても使用できる検定付体組成計です。

「DF860」は、両手・両足の8つの電極を用い微弱電流を流し、その電気抵抗値から全身の体脂肪率や内臓脂肪・筋肉量(骨格筋)を算出します。さらに、内臓脂肪指数はメタボリックシンドロームの判断基準にも採用されているへそ高さのウエスト周囲径入力方式で、生活習慣病につながる内臓脂肪型肥満かどうかを簡単に判定することができます。

「DF860」は通信機能を搭載することにより、単に測定にとどまらず、各業界毎のオリジナルソフトとタイアップすることができるため、個別運動処方(フィットネスクラブの運動プログラム)やエステ・サプリメントのカウンセリングが実現でき、さらなる顧客満足(顧客の囲い込み)に繋がります。また「DF860」は高精度・低価格の検定品として、医療施設・官公庁施設へ導入を図ることができます。

主な仕様

ひょう量	150kg
目量	0.05kg
測定方法	多周波8電極B法
電源	AC100V
外形寸法	W365×D685×H880mm
重量	約18kg

主な測定項目

体重、BMI、体脂肪率(全身、左右腕・脚)、内臓脂肪指数、筋肉量(全身、左右腕・脚)、筋肉率(全身、左右腕・脚)、基礎代謝量、推定骨量、水分量



印字例

```

Yamato 2006/11/20 10:00
体組成計 DF860
測定No. 123
****体組成の測定結果****
体重 70.00kg 普通体重
標準体重 63.60kg
標準上の差 6.40kg
BMI 24.2 普通体重
<脂肪>
体脂肪率 22.0% 軽度肥満
右腕の脂肪率 22.9% やや高い
左腕の脂肪率 23.5% やや高い
右足の脂肪率 19.8% やや高い
左足の脂肪率 18.7% 標準
内臓脂肪指数 80 注意
<筋肉>
筋肉量 23.00kg
右腕の筋肉量 11.00kg
左腕の筋肉量 11.60kg
右足の筋肉量 5.60kg
左足の筋肉量 7.00kg
筋肉率 32.9% 標準
右腕の筋肉率 43.3% 標準
左腕の筋肉率 39.4% 低い
右足の筋肉率 52.5% 標準
左足の筋肉率 53.7% 標準
<代謝・骨・水分>
基礎代謝量 1557kcal 標準
標準値 1561kcal
標準骨量 2.90kg
水分量 40.00kg
<個人情報>
身長 170.0cm
へそ高さウエスト 89cm
年齢 40才
性別 男性
*****

```

国内展示会

ウェステック 2006

2005年の発売開始から2年が経過した「次世代形トラックスケール」ですが、昨年より広くお客様に次世代形トラックスケールを知っていただくために、NEW環境展に引き続き、8月29日から9月1日までの4日間、パシフィコ横浜で開催されたウェステック2006に出展いたしました。



出展内容はNEW環境展同様、ラジコンによるデモ計量を主体に新形デジタルロードセル「DCC1型」、新形「ストッパー」等を展示しましたが、今回はさらに「RFID式卓上カードリーダー」を初展示いたしました。これは、従来のパンチカード式カードリーダーに替わる次世代のカードリーダーとして開発中のものですが、来場されたお客様からは従来のパンチカード式と比較して、

カードデータ(車番、品種等)の変更が可能

非接触式の為、カード挿入用の開口部が無く粉塵に強い

点で優れていると大変ご好評をいただきました。

来場された方についても、最終処分場の職員の方や環境関連プラントメーカーの方など、NEW環境展とは少し違う職種の方も多く、また具体的な引き合いや貴重なご意見も多数頂戴することができ、非常に有意義な展示会になりました。

この展示会でいただいた意見や情報を今後の製品開発に役立て、皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。

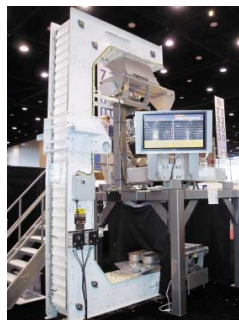
2006年10月29日から11月2日の5日間、アメリカ・イリノイ州シカゴのマコーミックプレイスにおいて“Pack Expo 2006 (PMMI)”が開催されました。

この展示会は毎年開かれているアメリカ最大の展示会で、昨年はラスベガスで開催されたため、シカゴでの開催は2年ぶりです。

約2,300社が出展し、5日間の会期中に約4万5千人(米国外から約6千人)の来場者がありました。

データウェイ シリーズ、データウェイ コンパクトシリーズ、データウェイ シリーズ、ケースパッカーと展示ラインナップを揃える中で、**Yamato** ブースの目玉は、何と云っても展示会に初出展となったデータウェイ F1シリーズ最新機種の新機種F518SVだったと言えるでしょう。

60gのポテトチップスを210袋/分で計量しつつ、十分な包装時間を確保できる世界最速の計量機のキャッチフレイズは大きなインパクトを残し、お客様からは大きな反響を得ました。



また、得意先の包装機会社に当社製品を多数展示頂き、アメリカでの**Yamato** の存在を大いにアピールできたと感じています。

Yamato は In America To Serve America(アメリカにおいてアメリカに貢献する)をスローガンとして、アメリカ市場に貢献してまいりましたが、お客様の熱い期待に応えられるよう、益々発展してまいります。



サロン展

2006年11月20日から24日の5日間、フランスのパリ郊外 Ville-pinteで「Salon d'Emballage 2006」が開催されました。

展示会の出展者数は2,300社で、そのうち半分以上をフランス以外からの出展社が占め、全入場者数は108,000人でした。

同展示会は**Yamato** が最新技術を盛り込んだ F1シリーズを国内外で初めて発表させていただく場となりました。

出展モデルはADW - F514SV、ADW - F518SV、ADW - 714SVでした。商品アピールを強化するために、実際にポテトチップスを計量している場面を映像で流すなど、お客様の目を惹きつけました。またお客様は中近東、アジアなど



ヨーロッパ外からの方も多く、グローバルな製品紹介が実現できたと思います。

最後に今年は当社がヨーロッパへ事業を広げて20年目に当たる年でありましたので、このような記念すべき年に新しい商品を出展できたことは大変有意義でありました。これからも**Yamato** が世界で貢献していくように日々努力してまいります。



トピックス

のじぎく兵庫国体出場!

昭和31年以来50年ぶりに地元兵庫県で国民体育大会が開催され、当社から川西社長と2名の社員が出場しました。

2006年10月6日、三木ホースランドパークで開催された馬術競技(セントジョージ賞典馬場馬術)で、当社社長の川西勝三が5位入賞をはたしました。一昨年の岡山国体より順位を二つ上げて、アマチュアでは最高位となります。これからも、さらなるステップアップを目指して、社業の方も“狙った獲物は逃がさない”挑戦を続けてまいります。



また、2006年10月1日、宝塚市立総合体育館で開催されたバドミントン競技(成年男子)には、選手・監督として、当社バドミントン部の伊藤博哲と木田英明がそれぞれ出場しました。残念ながら2回戦で香川県に惜敗しましたが、大和製衡の社員が多数応援し、会場を盛り上げたことが地元新聞にも取り上げられました。

F1シリーズ(組合せはかり)が日食優秀食品機械資材・素材賞を受賞

2004年の JAPAN PACK での発表以来、ユーザはもとより包装機メーカーから大変注目されている組合せはかりデータウェイ F1シリーズですが、このたび日食優秀食品機械資材・素材賞を受賞いたしました。この賞は日本食糧新聞社制定で今回は9回目となります。賞制定の目的は、食品業界をバックアップする食品機械と資材・素材業界の発展を期して、顕彰と感謝を表する為に制定されたもので、機械部門での受賞となりました。選考に際しては、学識経験者、食品業界の代表者、関連団体の代表者で構成される選考委員会が協議のうえ決定されました。選考基準は、食品業界で新製品の創出に役立つ、コスト低減、効率化に寄与し、食品業界の活性化に役立つ食品機械に与えられるものです。F1の「包装機の性能を最大限に生かす」ための革新的なコンセプトにより、計量包装工程における生産性向上、不良率低減に寄与しました。60gのポテトチップスを1分間に140回という高速で、しかも高精度で組合せ計量し、包装機にとって理想的なタイミングで排出することによって、シール不良を大幅に削減することが可能になる組合せ計量器です。F1シリーズは、これからもユーザ・包装機メーカーに喜ばれる計量器になるために進化し続けます。



信頼・技術・創造
ヤマト 大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 7673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
普通はかり営業課 7673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
札幌営業所 〒062-0052 札幌市中央区南二条東1丁目1番地14
千葉営業所 〒264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号
九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-5555
TEL.078-918-6540
住友生命浜松町ビル4階 TEL.03-5776-3121
朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5730
住友生命札幌中央ビル8階 TEL.011-219-8355
ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921

2007年1月発行 07011300 IK



本カタログは環境に配慮し、
植物性大豆油インキを使用しています。

